

## 一般質問

## 議員9人 町政を問う

12月定例会の一般質問は8日および9日に行われました。

紙面の都合により要約してお伝えします。

なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある  
会議録で確認できます。

また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、  
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、議員の日常活動と  
調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに、  
町長の方針を問うものです。

吉岡町では、質問および答弁をあわせて、  
1人60分の持ち時間があります。

## ■大林 裕子議員（7ページ）

1. 子育て支援について
2. 船尾滝周辺の整備について（観光を含む）
3. 高渋バイパスについて
4. 南下古墳群について

## ■金谷 康弘議員（8ページ）

1. 子育て支援事業について
2. 学校教育について
3. 地域問題について

## ■竹内 憲明議員（9ページ）

1. 防災対策について
2. ガン検診について
3. 18歳選挙権適用に伴う取り組みは
4. 公園管理運営について
5. 通学路整備について

## ■村越 哲夫議員（10ページ）

1. 防災及び災害について
2. 高齢者について
3. 道路網及び交通事故対策について
4. いじめについて
5. 地域問題について
6. 姉妹都市締結について

## ■柴崎 徳一郎議員（11ページ）

1. 町職員等への心と身体の健康対策は
2. 地域包括ケアシステム構築への進捗は
3. これからの町農業政策の展開は
4. 地域課題について

## ■山畑 祐男議員（12ページ）

1. 男女共同参画について
2. まちの地域包括ケアシステムについて
3. 通学路の安全について
4. 町の防災・災害対策について  
(危険個所の改修含む)
5. 地方創生と30年後を見据えた町づくりについて

## ■五十嵐 善一議員（13ページ）

1. 子育て支援策について
2. 高齢者等の生きがいづくりについて
3. 安心・安全な町よしおかの実現に向けて
4. 未来を見据えた町づくりについて

## ■小池 春雄議員（14ページ）

1. 就学援助制度の現状と改善
2. 子供の貧困対策
3. いじめ防止対策条例の制定
4. 介護保険問題

## ■坂田 一広議員（15ページ）

1. 町の財政について
2. 社会資本の老朽化対策について
3. 関越自動車道側道について

## インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。

アクセス方法は

吉岡町議会

検索



大林裕子 議員

# 子育て支援の場を広げては

## 答 保健センターを拠点に進めたい

**問** まちの出生率は。

**答** 総務政策課長 合計特殊出生率は、平成20年から24年では1・49。国、県、近隣市町村より高い。

**問** まちの子育て事業、相談事業の現状は。

**答** 健康福祉課長 保健センター、児童館、第4保育園の地域子育て支援、民生委員の子育てサロンなどの支援活動がある。26年度の心理士への相談は、1年間で155件。核家族化の中、母親が一人悩むケースが多い。

**問** ふらりと寄り、悩みを相談できる支援の場を広げては。

**答** 健康福祉課長 保護者の精神的負担を解消できるよう、保健センターを拠点に進めたい。

**問** 船尾満整備の現状は。

**答** 町長 県の治山事業を要望し、周辺の保護を図っている。  
**問** 渋川市との連携協定の船尾満の位置付けは。  
**答** 町長 観光トライアングルの観光スポットとして整備していきたい。

**問** 役場に観光に特化した部署をつくり、体制強化が必要ではないか。

**答** 産業建設課長 町民と一体となり、地域をPRするとの意識をもち、進めたい。

### 小倉工業団地の今後は

#### 企業を誘致できる環境をつくりたい

**問** 高崎渋川バイパス開通後、小倉工業団地は流通面でも利便性が向上すると思うが、まちの考えは。

**答** 町長 渋川市と連携して有効な道路になるよう努力したい。

**問** 南下古墳群をどう捉えているか。

**答** 町長 県内でも貴重な遺跡。町民、県内外の人に見てもらいたい。

**問** 工業団地を通る、町道庚申塚5号線



親子で楽しく (吉岡町子育て支援センター)

合計特殊出生率

一人の女性が一生の間に産む子どもの数。

観光トライアングル

駒寄スマートICの大型化を進め、渋川・伊香保・吉岡の観光トライアングルを形成する構想。

三三解説



金谷康弘 議員

# 幼児を預けてまでも働きたい

## 答 3歳未満児受け入れを拡大する

**問** 9月の補正予算で児童保育費が1億2千万円増額。低年齢児数が増えている。対応は。

**答** 町長 駒寄幼稚園に「認定子ども園」として増床し、3歳未満児を受け入れ予定。

**問** 保育園は保育士、幼稚園は幼稚園教諭の資格で、認定子ども園は両方の資格が必要と聞くが。

**答** 健康福祉課長 駒寄幼稚園の教諭は、保育教諭で両方の資格をもっている。

**問** 就学前児童が増えている。子ども・子育て支援事業計画の見直しが必要では。

**答** 教育委員会事務局長 2人のスクールカウンセラーが、小・中学校におけるスクールカウンセラーの配置・活動状況は。

**答** 健康福祉課長 特に0歳児の見込みが既に超えているので、子ども・子育て会議を開催し、変更したい。

**問** 教育現場に、新聞を授業に活用するNIEの応用を。

**答** 教育委員会事務局長 県内には9校の実践指定校があり、この実践報告を待ち、検討してみたい。

**問** 学校教育現場における複雑な問題に対応する、スクールソーシャルワーカーの活用状況は。

**答** 教育委員会事務局長 必要に応じて来てもらう。今年2回依頼、積極的に活用したい。

**答** 町長 県の森林部局と検討を重ねている。併せて工事要望をしている。

### 悩む児童生徒に救いの手を

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを大いに活用したい

**問** 小・中学校におけるスクールカウンセラーの配置・活動状況は。

**答** 教育委員会事務局長

2人のスクールカウンセラーが、小・中学校を訪問し児童生徒・保護者の相談に対応は。

**問** 滝ノ沢川の土砂災害警戒区域内、土石流発生の危険性は。

**答** 町民生活課長 上流部の砂防ダムで対応している。

**問** 利根川右岸の川原田不動尊東崖部分、大きな広葉樹の根が露出している。大変危険である。



台風で倒れたら？（川原田不動尊東崖部分）



竹内憲明 議員

# 宮田沼橋信号機に歩行者用信号機の早期設置を

## 答 この場所は設置予定になっている

**問** 通学路になっている宮田沼橋は、関

越自動車道の側道であり、朝夕のラッシュ時は車の交通量が多い。登下校時には横断するのにはとても危険であると考えるが。

**答** 町長 まちでは平成26年度に歩行者用の信号機2カ所の要望を受けているが、この場所については設置予定になっている。

**問** 18歳選挙権適用に伴う取り組みは。  
**答** 教育委員会事務局 長 現在の吉岡中では生徒会役員選挙で実物の「投票箱」を使い投票している。

**問** まちでは18歳・19歳の選挙権を与えられる人数は。

**答** 総務政策課長 平成28年夏の参議院

議員選挙では、18歳が203人、19歳が211人で合計414人を想定している。

### ふるさと公園の

### ローラーすべり台の撤去後は

それ以外に代わるものを検討

**問** ふるさと公園のローラーすべり台の撤去後の考えは。

**答** 教育委員会事務局 長 跡地には芝を植え、ローラーすべり台に代わるものを現在検討している。

**問** 災害時の移動用発電機およびその他の機器は。

**答** 町長 持ち運びのできる発電機および投影器が12基ある。また、各種災害用備品は毎年補充。非常用電源については検討していきたい。

**問** がん検診について県の受診率と比較すると。

**答** 健康福祉課長 大腸がん検診は、ほ

ぼ同様だが、肺がん・子宮頸がん検診は、やや低い傾向。胃がん・乳がん検診は高い受診率となっている。ただし、平成27年度は県平均よりも高い受診率となる予想。



歩行者用信号機の設置が待たれる宮田沼橋信号機



村越哲夫 議員

# 吉岡バイパスの延伸は

## 答 県にも粘り強く要望を続けている

**問** 交通事故防止対策は。

**答** 町長 信号機の設置、交通規制の実施、危険箇所の見回り、看板の設置による注意喚起を実施。

**問** 吉岡バイパスの、高渋バイパスまでの延伸計画は。

**答** 町長 高崎渋川バイパスや南新井前橋線の整備に取り組んでいる。県にも粘り強く要望を続けている。

**問** 園児のいじめ問題と幼児からの情操教育の取り組みは。

**答** 健康福祉課長 園児のいじめについては報告を受けていない。

教育委員会事務局長 幼児期の情操教育には、0歳児の10カ月健診の時に「ブックスタート」事業を行っている。また、町内の保育園・幼稚園へ、毎月、紙芝居を配達し読み聞かせを行っている。

### 集会施設にAED設置を

#### 自治会振興補助金で対応してほしい

**問** 各自治会の集会施設にAEDを設置できないか。

**答** 町長 町内では14カ所設置。集会施設については、自治会振興補助金で対応してほしい。

**問** まちが各自治会に期待している自主防災組織の理想像と

互いに連携していくことを確認。主要地方道の延伸やJR八木原駅周辺整備その他、2市町が必要と認める事項を実施していくことになる。

は。

**答** 町民生活課長 災害時には、各自治会での自助共助のもと初期行動をしていただきたい。

**問** 地域連携協定締結について、現在の状況は。

**答** 町長 渋川市と締結し、両市町がお

支援への活性につながると考える。

**問** 災害時要支援者の登録状況は。

**答** 町民生活課長 自治会長を経由し届出。現在、登録人数は65人。

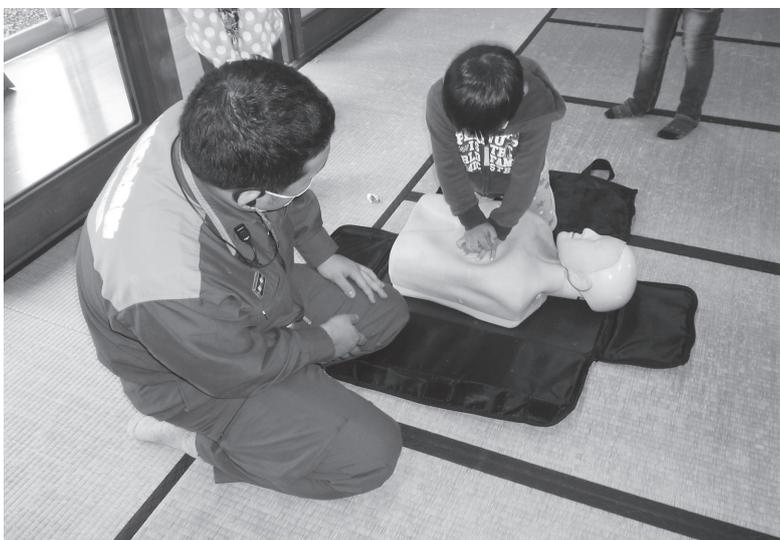
**答** 町長 まちでは、地域福祉計画を策定中。自治会や隣組での共助の役割が、生活

**問** 高齢者見守のための充実策は。

**答** 町長 まちでは、

**問** Lアラート（災害情報共有システム）を導入し、災害時に情報を住民に伝えられないか。

**答** 町民生活課長 県で運用に向けて準備中、まちでも実施に向けて検討したい。



自治会による防災訓練（下野田）